

2022年ワールドカップサッカーが始まりました。予選リーグで日本は初戦に強豪ドイツと闘って見事勝利しました。ワールドカップサッカー大会は小生にも少なからぬ因縁があり、今回のドイツ戦を観てその思い出を記します。

停年直後の2002年開催の韓国日本大会で、縁あってドイツチームの警備担当通訳を務めました。息子の友達がJFA（日本サッカー協会）に勤めており、各国の警備担当から通訳配置を依頼され、彼の推薦でドイツチームの警備担当者の通訳を務めました。右はその時の身分証明書です。

ドイツ側は空手愛好家の警部補さん、日本側は合宿先の宮崎県警の警部・警部補のお二人。当然ドイツ語には縁がなく、小生頼りの活動でしたが、双方ともに警備という役目に関しては経験あるので安心でした。

チームの合宿先・宮崎のホテルに我々も同宿し、チームの活動に併せて同行するときにコミュニケーションを図るのが小生の役目でした。

合宿を終えいよいよ戦いが始まりました。仙台・東京での試合を終えて一次リーグ戦突破、その後ドイツチームは韓国に移動して、本戦を戦い決勝進出を決めました。再びチームは決勝戦の行われる日本に戻り我々はまた合流しました。

横浜で行われた対ブラジル決勝戦は得点0対2で残念ながら負けましたが、ドイツ本国から大統領も応援に駆け付け、試合終了後の「ご苦労さん会」に各関係者と共に我々も参加して盛大な会食が出来ました。その時のゴールキーパーがかの有名な「オリバー・カーン」！彼はこの大会の最優秀選手に選ばれました。

あの時、日本でのドイツ対ブラジル決勝戦は、家族全員で観戦しました。勿論ドイツを応援です。一方、今回の日本対ドイツ戦は実に複雑な思いで見えておりました。日本人であれば日本の勝利を願うのが当然だと思いますが、私は何としても日本に勝ってほしいとは思っておらず、かといってドイツに負けてほしいとは思えず、本当に複雑な気持ちでした。

結果は結果！！今回、日本は決勝トーナメントへの進出を果たしましたがドイツは敗退しました。次の機会には両チームが勝ち進み、決勝戦での対戦ができることを期待しています。

古い写真集をチェックしました。アルバム一冊分の写真がありますが、残念ながらカーン主将と一緒にの写真はありませんでした。

しかしフェラー監督とバスの最前列に並んで撮った写真がありました。私にとっては貴重な一枚です。





左は試合会場に向かう前のカーン主将とボーデ選手を収めたスナップです。

下はドイツ代表チーム全員で、カーン主将は前列中央に、フェラー監督は2列目左端に写っています。

大会スポンサーが参加全チームを収めた絵葉書のコピーです。



【結び】小生のドイツ赴任約7年間に子供たち3人は皆、現地の小学校に通い地元のサッカークラブに所属して週一回の合同練習に励んでいました。そして時間さえあれば仲間と遊びのサッカーをいつもやっていました。帰国後、その延長線上で長男・次男はサッカーからラグビーに転向し、大学時代は兄弟同士で早慶戦を対戦したほどでした。三男は引き続きサッカーに励み、現在はJFA（日本サッカー協会）指導者養成ダイレクターとして活動しています。

今、ワールドカップ開催中のカタールに赴いて全ての試合を観戦しながらレポートを送ってきています。（西川誠太：<https://www.jfa.jp/coach/news/00029086/>参照/事務局にて追記）

私が2020年に流山市議の活動を終えた際にもシニアクラブHPのお便り欄に「議員活動を振り返って」と題して投稿させてもらいましたが、今回それと一部ダブるところもありますが、改めて20年前の思い出を述べさせてもらいました。

以上